18 de Agosto de 1922 No. 254

Noticias do Brazil

大正十一年八月十八日　金曜日　第二百五十四號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5698
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ——— 18$000
„ Semestre ——— 8$000
„ Mez ——— 1$500
„ Semana ——— $500

有用の人たれ

州統領ワシントン、ルイス氏の代となり、例の契約期滿了を段落に、以後日本移民の渡航費補助を繼續しないと云ふ事になつたので、現州統領は日本移民を嫌ひではあるまいかとの疑ひを生ずるに至つたが、能く事實を探つて見ると、現州統領は別段日本移民を嫌ひな譯ではなく、或る有力者が伊太利移民をヨリ多く伯國に招致する策略として、伊太利移民辯護の引合ひに、日本移民を中傷せしに基けることが判明した。

先頃もワシントン、ルイス氏がコチャ方面を巡視された際、圖らずも荷積自動車に馬鈴薯を滿載し其の上に二三の日本人乘跨がり、且つ日本人に依つて操縦されつゝ停車場に走る自動車、一臺ならず二三臺に出逢ふたので、スッカリ日本人の奮闘振りに感心してしまつた所に、又最近イガラバーバに出張中珈琲園に於ける日本人の働振りと、成績とを見て益々感激し、伯國農業には日本移民が決して不適當でないと云ふことを、統領の口から內々屬僚に洩したと云ふことである。

して見れば統領ワシントン、ルイス氏も一時何かの具合で、當分伯國の移民は伊太利に頼るの都合宜からむとしたるが如きも、其の結果は餘り面白からざるのみならず、日本移民の缺點指摘は畢竟中傷の目的に出でたるものなるを看破するに至れる今日では、又元の如く日本人渡航費補助も、伊太利移民並に支給さるゝは想像に難からずではあるが、吾輩の希望を云へば、渡航費補助の性質は元來恩惠的のものではなく、伯國は外國移民に依つて珈琲園を維持し又更に伯國の富源開發を爲すの必要上、移民招致の便法として支出するものであるが故、補助金の約束も現在の如く姑息な部分的人數や、一ケ年契約と云ふやうな短期間を止め、少なくも五年か、七年の契約を爲して、移民を出す日本側にも充分の準備と方法とを講ぜしむるを、日伯雙方に取つて利益ありとする。

但し右の補助金云々は伯國側から論じたもので、日本の移民政策樹立の上に直接關係するものではなく、又關係さしてはならぬことではあるが、伯國に在住する吾々の立場としては、聖州政府が伊太利其の他の移民に渡航費補助を爲す以上は、日本移民にも平等の補助を要求して何等恥ずるなきは勿論のこと、補助を受けて渡來した場合は、完全に其の約束履行を果せば宜いので、之が艤て日伯雙方の利益及び親善の鏈鎖ともなるのである。

所が日本人の中では渡航の補助を受けながら、義務を果さずして他に無斷移動を爲す者のあるのは遺憾である、尤も義務不履行の場合は、不履行者にも相當理窟のあることは毎度聞く所ではあるが、其の理窟や事情は他の方法を以て解決すれば解決の途もあるのであるから、矢張り約束は約束として履行しないと、時に横合から中傷などの出ずる場合は直ちに其の缺點を拾上げられ、日本人が是れ〳〵なりとして一般が迷惑を被むらねばならぬこと恰も現下の補助金不繼續問題の如きものになる。故に吾々は吾々の立場を辯護するに公使、領事があるとしても、吾々〳〵の平素爲すことに缺陷があるならば折角の辯護も何等其の問効目なきのみならず、却つて辯護者をして迷惑を被らしむることになるから、吾々は眞に伯國發展を實現せんとするならば、辯護よりも中傷の入るべき餘地なきやう、奮闘努力するが何より必要な事たるを自覺すべきである。

●加藤內閣の壽命

◇存外長がさうである
◇總選擧もやる積りだ

▲新內閣の壽命に就きては種々の推測もあるが大體は長命であると見てゐるものが多い、其主たる理由は貴族院には研究會と交友倶樂部の後援があり衆議院では絶對多數黨たる政友會が無條件で援助するからだとしてゐる、所が政友會內にも▲相當に野心家がありまた加藤首相の性格から見て、大正十三年の總選擧を現內閣の手で爲し遂げる積りであるや否や、政友會が袖手傍觀し得るや否や疑問である政界の一部に十三年の四月になれば屹度內閣が更迭すると見てゐる向があるのは之れが爲である、只此間注意すべき問題は現在の政友會に高橋是清男といふ黨首はあるが實際上二百八十の頭顱を率ゐる中心がない事で、若し政友會にして此狀態で押して行くならば政權は當分現內閣に委ねて置くが得策であらうし、幸ひにして一つの中心を得るに至らば進んで▲政權受授の運動を起すもよからう兎に角是等の事實から考ふるに今から內閣の前途を忖度するのは頗る穩當を缺く、が併し加藤內閣の組織に當つて裏面に何者かの策士があり、練達の士水野氏を內務大臣に選んだのは誠に意味深長で、政友會が自己の手を以て次回の總選擧を行はず、之れを中間內閣の手に委ね置き其の上豫定の好成績を收めて天下に呼號し、而して後徐ろに▲政權の圓滿受授を行はうと云ふのであつて此上もない巧妙の策である、そして右の大使命を首尾よく果し得るものは水野氏であるとの說が昨今內閣方面に行はれて居る。

●現在主義の新生活（上）

◇滿腔の熱誠を込めて滿天下の青年に提唱◇

東京社會教育課長　大迫元繁

◆感激は青年の獨占

北條早雲が、未だ一介の布衣、其存在や、未だ活社會に、何等の波紋を呼起すに足らぬ一青年の頃、或日箱根の山に登つて、見渡す限り漠々として際涯を知らぬ太平洋を眺めた時青年早雲の胸は感激に躍つた。彼は海の雄大なる相その浩蕩として悠久なる態、その含蓄や、底深くして計り難きに心魂を奪はれたのであつた『男子須らく斯の如くならざる可からず』と叫んで、彼は感激に滿ちた眼で、海に見とれて居た、あゝ是そ早雲が見た青年の夢ではなかつたか實に、後年此夢の主は關八州を從へたのであつた。

感激は青年の獨占である。大自然の呼ぶ聲に應じて、早雲はひたすら人生の森深く分入り、關八州を掴んだのであつた。

◆曠野の招き

米國の或地方に居た一匹の飼犬が人に盜まれて、流れ流れて北はアラスカの荒野に迄連れ行かれた。人跡稀なる太古の姿其儘の、アラスカに住み馴るに連れ、犬は何萬年かの、人に聞耳を立れば、何處からともなく我を呼ぶ聲が傳つて來る。其聲は未だ嘗て聽た事のない、なつかしい聲である。蜜の如く甘き聲である。何かは知らず我胸を貫かんばかりである。心の髓迄泌み込まんとする。犬は狂氣の如く其怪しき聲を慕ふて小屋を飛び出せば、其聲は森の奥深くから聽えて來る聲であつた。彼は其聲を求め森の奥深く分け入り、慕ひ求めて、驅け廻つた。時に、忽然として眠より醒めては、眼光は輝き、立髮は逆ち、聲のする方角を指して

ひた走りに走つた月光の下、耳を澄せば遙かに、なつかしい聲は聽えて來る。或時は近く、或時は遠くに聽える。不思議や其聲は彼の心のどこか他の世界で聽た事のある聲であつた。犬の求めて止まぬ其のなつかしい聲は、森の奥深くに住んで居る彼の祖先即ち山犬の聲であつた。然り、清新、潑溂たる自然の聲、幽玄深刻なる大自然の呼ぶ聲であつた。犬は聲の主を求めて之に會ひ、無限の歡喜ガソリンを積込の爲め十六日紐育を出發してロックアウエイへ到着した

謹告

拜啓練習艦隊歡迎團『サントス』市及『ジュキヤ線』委員左の如く決定致候間此段謹告仕候

サントス市練習艦隊歡迎團委員
ジュキア線

會長　廣安鹿夫
會計　笹原憲次
同　與邦嶺仁五郎

（以下いろは順）

伊藤德衛　知念作吉　金山喜三郎　賀數德助　與儀正道　玉城彦吉　名嘉文五郎　上原直松　植田清七　榮門松　赤嶺榮　新野榮　新垣正榮　赤堀吟造　酒瀨川榮治　金藤菊松　宜野座岩松　南谷源八　宮城利三郎　末永傳吉

『サントス』市及『ジュキア』線委員への通信宛名は左記の通り願上候

S. HIBOYASU
Caixa Postal, 453 Santos

尙『サントス』市及び『ジュキア』線の歡迎費寄附者芳名並に金額は來週發行の兩邦字新聞に廣告仕候

大正十一年八月十八日

練習艦隊歡迎團

會話と作文の最良獨習書

伯剌西爾語は言文一致であるを利用して會話と作文を同時に修得すべく仕組んで之に文法活用を附加へたのは本書である

正價一部十二ミル（外に送料一ミル）

伯剌西爾時報叢書
葡語手紙の書方
附 文法活用自在

菊版美本全一冊
紙數三百〇八ページ

豫約期終了に付き正價に復す

故に葡語を獨習し又は手紙を書くには何人も此の書を座右に備ふるの要がある

▲未だ御購求なき方は速かに御注文を願ひます▲

發行所　伯剌西爾時報社

NOTICIAS DO BRAZIL Caixa Postal, H S. Paulo

▼▲東國南北▼▲

◆佛蘭西はアルサスローレン居住獨人を好ましからざるものとし廿四時間に退去を命じ期間後は財產を沒收さるかくて追放さる、獨人千五百

◆獨逸將軍ヒンデンブルヒは曰く獨逸を改善する爲には王政復古あるのみ歐洲の救濟は過激派を撲滅し露國に確固たる政府を建設して歐洲諸

◆列國と共存すべき方法を講ずるのが緊要であるかくてこそ初めて歐洲の平安は得られ財政經濟を再興し得て昔日の繁榮を見るに至るべしと

◆米國鐵道從業員同盟罷工で痛手を受けたのはカリフォルニアの果樹經營者東部への汽車が出ないので折角の果實は腐り出し五千萬弗はフイ

◆倫敦の聯合國首相會議も獨逸の賠償負擔輕減支拂延期許容で英佛の意纏らず獨逸は當にしてゐた借款の見込絶え馬克は底知らずに下る一方

◆佛蘭西首相はかくて遂に十五日倫敦を去る事となり佛國內閣ではもし獨逸に支拂猶豫が許容されても佛蘭西は其に關知せず全然保留自由行動をとる事に決心のほぞをかためた

◆首相會議が不調に終つたので消息通間には近くブルッセルに會議を催し佛白二國は遮二無二米國を仲間へ引き込む爲に努力せんと信ぜらる

◆伊紙ラリスコッサは最近の伊國擾亂に關しダンチオの態度を許して曰く詩人は政界の最大勢力を平衡せしめんとするかくて勞働愛國兩黨を提携するのである吾人は此の兩者の提携に次いで來るべき伊太利共和國の第一次大統領としてガブリエルダヌンチオの健康を祝さうと

◆當のダヌンチオは去る月曜日夜の暑さに別莊の露臺で涼をいれてゐる時不意に失神すると共に二米突の高所から墜落頭部を强く打つて負傷

◆重態となり主治醫はもし腦震蕩を起さなければ視力を失ひ盲目になるかも知れないと云ふ伊國皇帝からも侍醫を送り國民皆その回復を祈

◆百年祭に紐育から飛行機で參列を企てたヒントン飛行士はその機にガソリンを積込の爲め十六日紐育を出發してロックアウエイへ到着した

◇外電一束◇

◆新聞王逝く

倫敦タイムス外四十有餘の新聞雜誌を經營し新聞王の稱あるノースクリツフ卿アルフレツド、チヤーレス、ウイリアム、ハーモスウオース氏は二週間前から重態に陷り遂に十四日午前十時十二分逝去十七日ウエストミンスター寺院で葬祭執行された(倫敦電報)

◆日本陸軍縮小實行

東京電報に依れば愈々陸軍縮小實行に着手先づ七ヶ聯隊の砲兵は歸休を命ぜられ三百六名の將校は休職となつた

◆日本實業團消息

日本實業家南米視察團は十五日熊崎領事其他の出迎を受けて紐育へ到着ロトス倶樂部にレセプシヨンがあり十六日には商業倶樂部の午餐會に列席廿四日パンアメリカ號でリオへ向け出發前、華府、費府、ボストン等を視察する筈である(紐育電報)

◆日支露會議

日支露は西比利亞問題討議の爲會議開催に一致し露國は會場として北京を希望す(北京、リガ、倫敦各電報)

◆羅馬法皇重態

巴里電報に依れば羅馬法皇ピオ十一世の病氣は頗る重態になつた

◇經濟欄◇

●伯國牛乳加工業

伯國の牛乳加工業に關し、聯邦農務省の調査によれば、該工業の最も盛大なるはミナスジエラエス州で、一九一八年には既に次の如き工場數を有した

マンテイガ製造	七三三
ケイジヨ製造	四二二
ケイジヨ素製造	三

で同州は年々平均五百萬キロの牛酪七百萬キロの乾酪、千八百萬リツトルの牛乳を州外へ輸出する、畜産及び該加工業に依つて同州財政部は、一九一九年に於て十八萬四千コントスの收入があつた、又同州には乳脂を取つた後の牛乳を利用して、砂糖を製造する工場がある。

リオグランデドスル州に於ては、乾酪の輸出額を一九一八年に於ては前年に比し二十八コントス增加した

同年リオデジヤネイロ州に於ける牛乳加工品生產高は

ケイジヨ素	一二、一二五キロ
マンテイガ	三七二、四〇五
ケイジヨ	一四二、一〇四
乳脂	五八、三八八

而して乾酪の州外輸出高は、前年に比して一九、二二五キロを增加した

サンタカタリナ州は一九一八年迄牛乳加工品の州外輸出は皆無だつたが同年に於けて千百九十六コントスを輸出した。

又北部のピアウイ、リオグランデドノルテ、バイア等に於ても、八千二百萬乃至八千三百萬リツトルの牛乳三十萬キロの牛酪、四百萬キロの乾酪を生產する、然し之等は皆州內に於て消費せられる。

●パラナ州 知つた振(十四)

帆影

◆保健(承前)

クリチバの死亡率を伯國內各地と比較すれば

	(千分率)	統計年別
クリチバ	一四、五三	一九二〇
サンパウロ	一九、一六	一九一九
ペロオリゾンテ	一七、一五	一九一五
サンサルバドル	一八、三〇	一九一三
サントス	一八、四〇	一九一三
マナオス	一八、六四	一九一四
フオルタレーザ	一八、七二	一九一四
リオデジヤネイロ	二二、三四	一九一五
マセオ	二四、九四	一九一三
レシイフエ	三二、八二	一九一三
ニテロイ	三三、〇一	一九一三
アラカジユ	三四、二八	一九一三
パライバ	三九、四八	一九一三

更に世界の主な都市の死亡率と對比すれば(各國の分は一九一三年調)

	千分率
カリヤオ	四四、四三
メキシコ	四〇、五〇
カイロ	三六、九〇
ボンベイ	三三、〇六
モスコウ	二五、〇三
ペトログラード	二一、四〇
ブダペスト	一八、九三
華盛頓	一七、〇〇
羅馬 (一九一二年調)	一六、四二
ボストン	一六、二八
巴里	一五、九二
モンテビデオ	一五、五七
ブエノスアイレス	一五、五〇
クリチバ (一九二〇年調)	一四、五三

即ちクリチバは世界の中で、最少死亡率の中の一だと云ふ事が明である

●物價表(昨日)

棉花上(エンラーマ)	一アローバ	四四、〇〇〇
同(エンカローソ)	一アローバ	一四、五〇〇
米(特等)	六〇キロ	一
同(最上)	六〇キロ	三五、〇〇〇
同(上等)	六〇キロ	三二、〇〇〇
同(並等)	六〇キロ	二九、〇〇〇
同モミ(特等)	六〇キロ	一
同(最上)	六〇キロ	一
同(上等)	六〇キロ	二〇、五〇〇
砂糖(特等)	六〇キロ	四八、〇〇〇
同(マスカボ)	六〇キロ	二一、五〇〇
豚脂(聖州產)	六〇キロ	一一四、〇〇〇
同(南リオ州產)	六〇キロ	一二〇、〇〇〇
マンヂオカ粉	五〇キロ	一一五、〇〇〇
メリケン粉(亞國產)	四四キロ	三一、〇〇〇
同(內國產)	四四キロ	三一、〇〇〇
豆(ムラチニオ、セツカ)上	六〇キロ	二〇、五〇〇
同(中)	六〇キロ	一
豆(ムラチニオ、アグア)上	六〇キロ	一
同(中)	六〇キロ	一
豆(ブランコ)	六〇キロ	
ミリヨ(アマレリニオ)	六〇キロ	一一、四〇〇
同(アマレロ)	六〇キロ	一一、〇〇〇
同(アマレロン)	六〇キロ	一一、〇〇〇

●爲替相場(昨日)

倫敦	(リブラ)金	三八、〇〇〇ミル
巴里	(フランコ)	五九八レース
紐育	(ドル)	七、五〇〇
日本	(圓)	三、六〇〇

●汽車時間畧表

◆パウリスタ線 聖市發

○五時三〇分(サンカーロス止り)
○七時四二分(バレットス行き…アラ、クワラ線へ連絡…バウルー方面…ドウラデンセ線へ連絡)
○九時二五分(サンカーロス行き…バウルー方面)
○一七時(バレットス行き…水、金、日曜はイチラピーナにて乘替へバウルーに六時一七分着直ちにノロエステ線に連絡し得)

◆モジアナ線

○五時三〇分(リベロン行き)
○七時(カザブランカ止り)
○一九時一〇分(リベロンを經てウベラバへ)

◆ソロカバナ線

○六時一三分(バウルー及サルトグランデ方面行き)
○一八時一八分(土曜日の外每日サルトグランデ經由インデアナ方面へ連絡)
○二〇時五分(月、水、土曜の三回バウルー行き)

◆サントス…サンパウロ間

サンパウロ發 時分	サントス着 時分	サントス發 時分	サンパウロ着 時分
五、四五 日、祭	八、〇七	六、二〇	八、四七
六、〇〇	八、三〇	八、一〇	九、五〇
七、四五 日、祭	一〇、〇〇	八、一五	一〇、二五
七、五〇	九、四〇	一〇、二五	一三、二〇
八、〇〇	一〇、一七	一三、二五	一五、五〇
一〇、〇〇	一三、三〇	一四、一〇	一六、一七
一三、〇〇	一四、三八	一六、一〇 日、祭	一八、三五
一四、一〇	一六、〇五	一六、三〇	一八、三五
□一四、三〇	一六、五八	一六、四二	一八、二〇
一六、一二	一八、〇二	一七、二〇	一九、五八
一六、三五	一九、〇四	一八、二五	二二、〇六
一八、四〇	二〇、五六	一九、二五 日、祭	二二、四五

□は五六七月間土曜のみ

◆サントス…ジユキヤ線

サントス發 ○九時三〇分(月曜)(水曜) ○○同一六時 ジユキア着

一週月、水曜の二回なり

ジユキア發 ○七時(火曜)(木曜) ○○同一三時三〇分 サントス着

一週火、木曜の二回なり

◆セントラール線

サンパウロ發 時分	リオ着 時分	リオ發 時分	サンパウロ着 時分
六、五五	一八、三〇	七、二〇	一九、〇〇
一九、三〇	七、三〇	一八、三五	六、四五
二〇、三〇	八、一〇	一九、五〇	八、〇〇
二二、三〇	九、一〇	二一、二〇	九、〇〇

廣告

大正小學校生徒伯國獨立百年祭祝賀會參列費及び練習艦隊觀艦の爲めサントス行の旅費寄附芳名並に金額 第一回

一金百ミル 鮫島直哉殿
一金五十ミル 瀬木四十逸殿
一金四十ミル 中山忠太郎殿
同 上地彌藏殿
一金三十ミル 中矢熊吉殿
同 山田隆次殿
一金二十五ミル 渡邊藤作殿
一金二十ミル 長谷川庄太郎殿
同 中野佐々記殿
同 松井政武殿
一金十五ミル 矢部政三殿
同 山田勘市殿
一金十ミル 岡本專太郎殿
同 鈴木政吉殿
同 下末德之進殿
同 西村房吉殿
同 藤澤芳次郎殿
同 中山龜太郎殿
同 横溝時次郎殿
同 村上銀市殿
一金五ミル 松崎山民殿
同 梅田久吉殿
一金二ミル 金子保三郎殿

總計 四百九十七ミル

大正十一年八月十八日

大正小學校後援會

朝日小學校建設寄附芳名者

●ピロコッピ
一金三十ミル 安田廣吉殿
一金二十ミル 西田逸二郎殿
同 熊谷晴雄殿
一金十五ミル 古田礎吉殿
同 佐藤喜作殿
同 丸山龜次郎殿
一金十ミル 廣瀬留五郎殿
同 齋藤清作殿
同 高橋久太郎殿

●パオケマード
一金二十ミル 高倉新吉殿
同 淺里平三郎殿
同 高倉喜平殿
同 坂上竹次殿
同 熊本平七殿

●ハゼンダバンコ
一金五ミル 池野慶藏殿
同 秋山喜造殿
同 森清喜殿
同 我如古加郎殿
同 上地蒲殿
同 金城三郎殿

●イビチンガ
一金二十ミル 青年會殿

一金十ミル 小川健六殿
同 河野幹吾殿
同 林田金吾殿
同 古屋伊太郎殿
同 林田久七殿
同 猪隈式三殿
同 松田喜六殿
同 大倉俵吾殿
同 田坂和一殿
同 長田權次郎殿
同 岡田德太郎殿
同 鈴岡岩助殿

右は當耕以外よりの御寄附として特に吾人の感謝して止まない所であります

●朝日植民地
一金八十ミル 山口源九郎殿
同 武田良助殿
一金六十ミル 渡邊駒吉殿
一金五十ミル 中西貞六殿
同 今西啓太郎殿
一金四十五ミル 牧秀吉殿
同 村上榮殿
同 下江涼太郎殿
同 波止豐吉殿
同 高路隆一殿
同 川久良雄殿
同 手島雄平殿
同 丹野善太郎殿
同 中田吉之助殿
同 淺田卯一郎殿
同 荻尾源次郎殿
同 谷口見松殿
一金四十ミル 杉野德雄殿
同 佐々木一二殿
同 追林長次殿
同 竹原檜一殿
同 松本春藏殿
同 奥廣殿
同 船山柳作殿
一金三十五ミル 瀧口藤一殿
同 玉根作次郎殿
同 岸信逸殿
同 伊藤與治兵衛殿
一金三十ミル 執行傳吉殿
同 太田次郎吉殿
一金二十七ミル 緒方辨次殿
一金二十五ミル 鹽崎經三郎殿
同 高橋金造殿
一金二十ミル 安田又治殿
同 高瀬隆司殿
同 奥豐殿
一金十五ミル 野見山菊松殿
同 下江壽一殿
同 波止武雄殿
同 丹治一二殿
同 吉村德次郎殿
同 長澤莊作殿
同 仲間虎三殿
同 吉國牛次郎殿
同 吉竹和助殿
同 小角小市殿
同 久保次郎兵衛殿
一金十ミル 山口三次郎殿
同 大野莊助殿
同 若手虎吉殿
同 立澤六左衛門殿
同 池田省次殿
同 高橋鏡治殿
同 山下勝次部殿
同 丸岡薫殿
一金五ミル 富田健次郎殿
同 鹽崎新作殿
同 前畑新作殿
同 權藤浪吉殿
同 栗木伊平殿
同 佐藤彙松殿
同 村上竹吉殿
同 佐々木吉太郎殿
同 柴田榮五郎殿
同 古賀愛三郎殿
一學校敷地全部 野見山武藏殿
一日伯國旗二流、御眞影 朝日青年會殿

七月卅一日春日副領事並江越農技の兩氏には當耕巡視の砌當朝日小學校基本金として金百ミルを寄附せらる

朝日植民地日本人會

廣告

元、ミナス州ウベラバ驛ジユオンジユンケーラ耕地在留
愛知縣人
若山角兵衛
佐藤由松

右兩氏へ急用あり本人又は其現住所御存知の方は御一報願上候

海外興業株式會社伯國支店
リベロンプレート出張所
Caixa Postal, 290
Ribeirão Preto

愛用聲名ある

醬油の女王

「花の露」印

ORVALHO DE FLOR

K. OUTA & CIA.

釀造元 太田吉太郎
サンパウロ郵便函二〇〇七番

倉庫部 山田隆次
コンデ、デ、サルゼーダス街六五番

◇廣告◇

左記諸君の現住所御一報得度候

山崎庄馬　野中重助　五島菊市
河村末太郎　島田數惠　竹田森次郎
中牟田榮太郎　田の上熊五郎　大河內增太郎
鈴木勇　吉田由次郎
大塚丑太郎遺族

◆當社貸付者にして最近他轉し未だ屆出なき諸君はその耕地殖民地名、線名等を詳記し御一報被下度候

大正十一年七月

海外興業株式會社伯國支店

Caixa Postal, 1082　S. Paulo

宗教論壇

●余の來意を述べて
在伯同胞に訴ふ (六)

小林美登利

憧るゝ南米の土を踏んだのは昨年十二月の廿二日でしたが、南北兩米の甚しい相異は先づ其氣候に始り、紐育を立つ時は吹雪が吹いて居つたのにリオの港は今を盛りの夏の最中で鬱蒼として居る野山の青葉が直射する太陽の光を浴て萠え出る綠色美の鮮な事、あの煤煙に燻る米東部から來た者には眼が覺る樣な感を與へたのであります。そして各種各樣の果樹は茂り芳花は咲き亂るゝ、何と云ふ豐かな大自然でせう！私は之を見るや此大自然を背景として實現せらるべき南米文明の將來に虹の樣な幻の群り起つを禁ずる事が出來ませんでした。又此優麗な天然の中に住む伯人の溫良親切であつて特に人種的辟見の乏しい事は、北米邊で排斥の苦い經驗を嘗めて來た者には何とも云へない快感を與られます。

勿論南米の文明は北米のそれに比して尙ほ二三世紀後れて居る感が致しますが、然し此尨大な大自然と其中に埋沒する大富源が開發せられる曉には、果して此處に如何なる文化が咲き出るかは恐らく誰も今から想像し得る者が無いでせう。更に南米文化發展の一大要素は只に此廣大な處女未開の土地計りではなく、實に此すが〳〵しい氣候そのものであります。日本や北米に居る者は南米と云へば直ぐ濕熱酷暑で住むに堪えない處の樣に想像しますが事實は全々之と異つて、此んなよい氣候は布哇にも加州にも見出す事が出來ないのであります。幾ら勉强しても氣を催す樣な氣候でない事は確に南米文明の前途を幸する一大要素であると信じます。之等祝福せられた幾多文明發展の大要素を有する伯國は今非常な勢で進步しつゝあります。そして各國人は先を競ふて此大富源の開發と文明建設の爲に莫大な資本と勞力とを注いで居ります。さはれ在伯同胞に果して何の成算あるでせうか。

農界資料

●伯國に於ける養豚 (二)

伯國產豚改良の實を擧げる第一手段は、豚種の撰澤と、飼養法の如何にあることは勿論である。

先づ內國種と外國種とに就て見れば內國產種は米國其他の諸國產土着のものより、數等優つてゐることは、既に渡伯した事のある、外國の動物學者や、養豚家が一樣に認むる所である然らば伯國豚が一流たる事を期する爲には、內國種のみを以てすべきか、將た又優秀な外國產種と雜交せしむべきか、と云ふ事になつて來る。

さて內國產の或型のうちには、確實な特質こそ備へないが、殆ど銘種と雜交して氏の名が與へられ、クリオウロは殘りの總ての土着豚を含む、カナストラン以下の三種は、豚脂を多量に製產し得る重量を增すに適す、一見特種豚に見へるが、純血種特有の確定的特質がなく、眞實の特種產ではない、之等內國型の養豚家の注意すべき事は、一定の型がない事と、發育が緩慢である、と云ふ二つの大缺點を有する事を注意すべきである、けれども優種を撰擇し雜交せしめる事に依つて、此の缺點を減少又は全く匡し得る。

又今日まで國內に於て試驗された外國種の、優等なものに就て、一々略說すれば、ヨークシャイア。英國種の白で、脂肉及び食用肉を得るに適してゐる、然し氣候の暑い國では何れの國に於ても、まだ此の白色種の豚が好結果を得た所はない、强い日光の爲に影響を受け易く、皮膚病に罹り易い。

タムウオース。最も古い英國種である、食肉用としては適當だが、極めて僅かしか脂肪を有さないので、脂肪生產を主とする土地には、大規模の飼養に適しない。

バークシャイア。英國種で黑色である、非常に大きく生長する、食肉及び脂肪採取兩用に適するので、米國に於ては大に歡迎せられ、繁殖用豚種中最も高價に賣買せられる。此の豚種は伯國養豚に推薦され得るやうに思へるが、一つ缺點なのは、直きに退化變性し易く、雜交に確定性がない事である。

●日本近信●

●新例を開れた
關東の宮樣

六月廿六日より名山秩父嶽の名に據て秩父宮と申上る第二皇子雍仁親王殿下の御成年式が賢所御前で古式に則られ莊重に行はれた。當日は恰も國國陛下第卅八回地久節の佳辰に當つて相重なる慶祥に大內山の空も一際晴々しく拜し奉つた

●米海軍卿墜落

北京訪問中なる米國海軍卿デンビー氏は飛行機に割乘して萬里の長城を見物中四千呎の高空にて發動機に故障を生じ着陸の際飛行機に粉碎したが幸に氏は無事であつた

●澁澤無電設置出願

澁澤男を社長とし多數の銀行家及び實業家を後援とする企業會社は最初に米國と通信を開き次は歐州諸無線電信所と聯絡すべき資本金二億圓の民間無線電信所設置の件を其筋に出願した

●五島沖合に
大珊瑚礁發見

長崎縣南松浦郡富江珊瑚採取業者等は五月以來新珊瑚礁發見の爲め數十隻の珊瑚船を五島列島沖合に出して居たが此程同郡富江港を距る二十海里の地點で一大珊瑚礁を發見し優良品約三千五百圓ものを採取した同珊瑚礁は延長十海里餘に亘り殆ど無盡の觀があると

●練習艦隊布哇到着

練習艦隊は七月九日ホノルルに到着し矢田總領事及び日本人諸團體の盛大な歡迎を受け五日間同港投錨の上加州サンデーゴに向て出發した

當館本月一日ヨリ Rua São João No. 7-B 及 No. 9 ヘ移轉セリ
但シ當館ヘノ書信宛名ハ從前通左記ノ通認メラルベシ
記
Consulado do Japão
Caixa Postal, 144
Ribeirão Preto
大正十一年八月十日
在リベイロンプレト
帝國總領事館分館

バランテ●カッシーリヨ●ポールタを製造開始致候間御用命被下度候
カーザ東京
家具商
杉本芳之助
Rua B. de Itapetininga, 20 S. Paulo

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lapas 6 No. 236

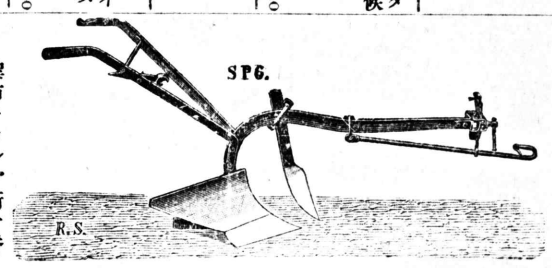
◆日本人に對する法律事件の相談
辯護士 ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所 總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
L. da Sé, 3, 3°. andar Sala, 14 S. Paulo

社告

左記の處に支部若しくは取次所が置てありますから購讀申込、料金拂込、及其他に關しては最寄左記の所へ便宜御手數を願ひます
(順序不同)
コンキスタ　福川薩然
プロミッソン　鈴木季造
ピリケイ　宮崎八郎
ア、リンス　森部一衛
リベロン　坂元靖
ベンナ　古庄常喜
サントス　古謝將義
セ、セーザル　岡島仁郎
プレジョン　長尾喜樹
イグアペ　菅山鷲造
伯刺西爾時報社

伯刺西爾時報取次所
旅館　成功館
サントス港　古謝將義
Largo 7 de Setembro, 15
Tel. Central, 2008, Santos

獨逸製並米國製アラード及附屬品、犂、製粉機、穀皮離脫機、其他一切の農具並石油發動機、牛馬牽引發動機等安價にて堅牢なる品多量到着致候間御用命伏して希上候
尙詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候



聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ會社
BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756, S. PAULO

◆迅速、叮嚀、勉强
Garage Normal
Tel. Cidade, 56
Praça da Republica No. 43
貸自動車業
電話　シダデ　五六番　七七番　七八番　四五一番
御用命の際は御呼び下さい
◆御引立を乞ふ

優良なる農具及工具用及物一切の御注文は本工場に願上候
H印鐵工場
平田初太郎
Caixa Postal, P. P. SANTOS
エスタソン、シュキーア際

FUJISAKI & COMP.
日本各種品
東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ペルナンブーコ
サン、パウロ支店
藤崎商會
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

聖波羅土地材木殖民會社
◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絕好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童敎育機關及日本醫院の設備等あり
◆尙詳細は左記宛御照會ありたし
ビリグイ代理人　宮崎八郎
Est. Birigüy　L. NOROESTE

リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro
日本貿易株式會社
聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo

新荷着
●食料品　厚板昆布、福神漬、椎茸
●賣物　青切昆布、淺草苔、わかめ
●金類　婦人藥、小兒藥、モグサ、風熱病藥其他一切
●圖書　マルハヤ稻刈鎌、土佐鋸、片手バリカン、其他一切
●化粧品　小說、雜誌、辭典、地圖
●日本野菜種子其他一切　口紅、白椿油、其他一切
◆日本金高價買入並に農產物委托販賣◆
直輸入商　瀨木商店
Y. SEGUI　Caixa, 1771—Tel. Cent. 3836—S. Paulo

やまと撫子（一）

ラファエル・モンテエロ

伯國文壇には珍らしい、東洋文藝であるからでもあらうが、堀口大學君の「タンカス」が沈滞しきつた伯國詩界に、一服の蘇生藥となつて、緊張した氣分を漲らせ、未だに文藝評論界の中心點となつて斯界を賑はしてゐる事は、其都度本紙に紹介した評論によつて知られる、今度も亦去七日の「オーパイス」紙に發表されたのが本文である。（帆影）

日本詩歌にあつて、その最も著しい特性の一とする事は、その純粹な國風、東洋風と云ふ事であつて、此れは西歐の詩には見らるべくもない。

日本の詩歌の昔ながらの、一定の型は和歌である、この中には本家株の三十一文字の古典詩の連歌から分家株の之も三十一文字の、五七五七調で出來た短歌を含む。

寫實派の詩である俳諧は、三句よりなる十七文字の、一の歌に他ならない（日本の詩歌は、日本の藝術の凡ての作品を支配する、二の特性たる自然派及び個性派である。）

最近日本の青年詩人界は、古來の型は忠實に守るが、日本語の進化と伴つて、正統派にまつわるやかましい約束から解放された、新短歌の芽を出さした。

最初は可成の反對を受けて、それに反抗しつゝ勝利を得て、日本社會の各方面からの同情や、共鳴を得て新派短歌は茲に又一の國風を造り出した、とも云はれやう。

ボオル、ルイ、クウシュウ（日本俳諧論の著者である）は、その興味ある研究の著『亞細亞の賢者と詩人』中に、日本の詩歌をかう云つてゐる

『僅三句の短い言葉で、日本詩人は一の風景を描き出し、一の場面を歌ふ。その全努力は、それによつて樣々な場面を、連想せしむるやうな餘情をもつたこの三句を撰むことに用ゐられる。日本の詩歌からは、無駄な言葉や、説明的の事は一切省かれる。

詩歌は凝り過ぎた感想や情よりはその瞬間に浮んだ感を出すをよしとする。詩歌は純潔な赤裸の感に生きる。

吾人にあつては、藝術家は一の貴族的社會を造り上げて、衆愚とは沒交渉に、超然とした社會に立つてゐる。書家は席畫をせず、音樂家も即席演奏をせず、詩人も即吟をしない

日本人は同じ筆で繪も描けば、字も書く、そして文字を書く事より、繪を描くからと云つて得意にもならない。

樂界は管絃樂を知らない、而も如何な通俗のものもとり入れる。そして詩歌はいつも短い、全く總ての藝術的假衣を拔ぎ捨てたものである。

日本人は總て、別にそれに熱心するわけではないが、詩人であり、樂人であり、畫師である。農夫はその收穫を終ると、矢立や手帳を腰に下げて、興の行くまゝに浮ぶ歌や俳句を書きつけながら、日本國中を行脚する。

藝術は國民一般に普及された。國內に飽和した、實生活に透徹した、日本の藝術は、吾人のそれの如く異常に深遠に行かなかつたかもしれない。日本藝術は或は、人の心靈の眞髓にまで觸れなかつたかも知れない

然し日本藝術は、西歐藝術以上にその社會的使命を見事に遂行した事は事實である。日本藝術は非常な廣い範圍に、悅や美を擴げる。』

若しかくの如くルイ、クウシュウの云ふやうであるなら、日本人は皆詩人である。だからと云つて、多數の日本詩人の合唱の中に、音頭取の聲がきゝわけられないと、云ふ事はない。

即ち詩人堀口大學は、この音頭取の聞の一つである。

曩頃佛蘭西語に飜譯されて、出版されたその小歌集『タンカス』は、間もなく佛蘭西に於ても、當國に於ても文藝界の賞讃を博し得た。

一週一笑

○妻の望

『僕は一度も妻の希望に反對した事はない。』

『偉い細君孝行だな。』

『さうさ、望むがまゝにうつちやつて置くのさ、一文もかゝるわけぢやないんだからね。』

●お斷り　小說奴隸の娘今回休載

◆最新式米國型洋服◆
◆叮嚀迅速廉價調製◆
矢部洋服店
Alfaiataria Yabe
Rua José Bonifacio, 11 A
Bob. Sala 3, Tel. 3434 Cent.
São Paulo

御菓子
まんぢう、やうかん
せんべい、その他
相變らず御引立を願ひます
村上銀市
Rua C. Sarzedas 71

聖市コンデ街五十三
電話セントラル五八一九
廣島屋旅館
Rua Conde de Sarzedas, 53
Telephone Central, 5819

CASA ALOISE
ALFAIATARIA
Rua Liberdade, 53
Telephone Central, 3844
弊店は常に高尚優美なる新流行服を極めて廉價にて調製いたします
リベルダーデ街五三
カーザ、アロイゼ
電話セントラル三八四四

旅館
和洋御料理一切
ボニータ街一一番
上地彌藏
郵函　一二二五
電話セントラル　五七〇一

御旅館
サントス市プラサ、デ、ジョゼイボニファシオ五一
平安名山戶
Praça José Bonifacio, 51
SANTOS

病氣の爲め禁酒
酒井一男

農業者諸君へ
一、好條件の步合作で陸運舟運都合の良い聖市に近い素適な上等地を提供します
一、お望みなら即時拂又は月賦でロッテを賣ります
一、尙ほ御希望どあれば年定で土地賃貸の御相談にも應じます
右御希望の方は左記へ
Rua Galvão Bueno, 65 S. Paulo

民刑商訴訟手續其他一切の法律事項懇切取扱
辯護士　ジルベルト デ アンドラーダ シルバ
事務所　R. S. Bento, 12 B
Pandar Sala 10

最新式
タンラプ機
及
稻苅鎌其他農具一切

皆樣の御贔負に報ん爲本年度は特に材料を撰び堅牢に廉價を旨として左の價格を以て御用命に應ずべく候へば多少に拘はらず倍舊の御引立願上奉り候

代價廿五ミルレース（但ノロエステ線内は送料共）

聖州ノロエステ線リンス驛
中村仁太郎鐵工所
NAKAMURA NIITARO
Linha Noroeste

純良
マヤジフ
醬油

ニガ味のあるキ、の薄い醬油にお困りの御家庭は
一度お試し下さい
わたくしが自慢で造つた眞の味とキ、目の二倍ある

ノロエステ線リンス驛ナンベ元造醸
藤澤豊次郎

土地賣出し
沃肥味地—實確券地

Inosuke Shiga
Estação Regente Feijó, Sorocabana
位置
ソロカバナ線インヂアナ驛と、プレシデンテプルデンテ驛の中間、レゼンテフエージョ驛より南六基米突詳細は御照會あり次第委敷御報可申上候
志賀伊之助
聖市郵函一八五〇

測量の依賴に應ず
小林弘一郎
Caixa Postal, 9 Catanduva

館館
エスタソン ソロカバナ前通り
東京館
電話シダーデ一四七六
Rua Mauá, 199
S. Paulo

◇新荷着御案內◇
◇食料品（數の子、土佐鰹節、削節、淺草苔、干瓢、干天、蒟蒻粉、椎茸、苦味付、晒若目、昆布、福神漬、日本橋漬、蛤味付、筍子、干蓮根、サザエ、食用紅、モチ米、アヅキ）
◇化粧品（御園白粉、クリーム、パール、口紅、三ツワ石鹼、花王石鹼、金鶴石鹼、アルボース、齒磨粉其他）
◇小間物（ツゲトキ櫛、ピン櫛、スキ櫛、石入サシ櫛、石入ツト止メ、ガランボ、カモジ毛、タボ其他）
◇書籍（講談、喜劇、悲劇、活劇、各小說類五百藝題、修養書、現代日用文、流行歌集、浪花節、小學讀本卷の一より終迄）
◇金物雜貨（稻刈鎌各種、鉋丁、大工用ヤスリ、理髮道具一切、花カルタ、線香、齒磨ヨージ、卷皮財布、其他）
◇日本野菜種子一切　直輸入商
◇中將湯實母散新藥澤山
K. NAKAYA　中矢商店
Rua Conde de Sarzedas, 69 S. PAULO

何人も座右缺くべからざる
葡和辭典
實價一册拾貳ミルレース
外に送料壹ミルレース
右御入用の方は至急御購求を乞ふ

『伯刺西爾語講習錄』は全部賣り切れに付今後御入用の方は同書の姉妹編とも云ふべき『葡語手紙の書方』を御注文願ひたし。詳細は一面の廣告御一覽の上御注文を乞ふ。
伯刺西爾時報社營業部
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H
S. PAULO

中山旅館
コンデ、デ、サルゼーダス街五〇番
中山忠太郎
電話　セントラール　四五五九番

旭旅館
コンセレイロ、フルタード街二四番
（コンデ坂上）

●聖州統領に勳章傳達に
公式來聖の堀口公使
◆忙しい〳〵一週間の活動◆

今回日本の聖上陛下から、聖州統領初め各部長官が、夫々叙勳されたので、その御沙汰と勳章を傳達する爲め、堀口公使同夫人は、毎々本紙文藝欄に紹介したやうに、伯國文壇を驚嘆させて、大に日本文藝の爲に氣を吐く、令息大學氏を同伴

▲十四日午前九時ルス驛着のルッショで、公式に來聖した。此の日停車場には、陸軍歩兵及び州警兵の一隊が正裝堵列して國賓を待つ、停車場表車寄には、正裝の巡査が各二米突毎に立ち綠黃の色綱を擁して交通遮斷して警戒してゐた。構内プラットフォームには、伯國側は州統領代理のテノリオ中尉を始め高官連、及び佛國州兵教官團長等が、皆正裝に威儀を正せば他方日本人側には

▲藤田組領事を始め總領事館員、海興其他各商店の代表者、主な在留民突毎に立ち綠黃の色綱を擁して交通遮斷して警戒してゐた。構内プラットフォームには、伯國側は州統領代理のテノリオ中尉を始め高官連、及び佛國州兵教官團長等が、皆正裝に威儀を正せば他方日本人側には

▲藤田組領事を始め總領事館員、海興其他各商店の代表者、主な在留民新聞記者等が、汽車を待つ間を語ふ顔は晴々しい。やがて九時を過ぐる數分、靜に列車が辷り込んで、公使一行が快活な顔色をして、鶴のやうな姿をプラットフォームに見せると、待ち構えた軍樂隊が、日伯兩國歌を吹奏する。賑かに出迎の人々と

▲挨拶が濟んで車寄へ來ると、そこに並んだ軍樂隊が、再び兩國歌を吹奏し、堵列兵が捧銃をして敬意を表す、公使は政府差廻しの公式無蓋馬車に、令息大學氏及テノリオ中尉と同乘、夫人は自動車に藤田總領事と同乘、騎兵一分隊の儀仗兵に護られ捧銃堵列兵を閲兵しながらホテルロチセリに向つた

▲同日午後、公使一行は政廳へ州統領を訪問、打ち解けた懇談に數時の後、各部長官を訪問し更に主なる新聞社を訪ねた。翌十五日には州統領夫人を往訪、歸館後午後四時ワシントンルイス氏は秘書官レゼンデ氏を代理として、答禮として公使をホテルに訪問せしめ公使夫人は午後、カンポス、エリセオス官邸に、州統領夫人を往訪、歸館後午後四時から

▲主な在留同胞を招いて、夫人の主催でお茶會が催された。十六日の午後四時にはそのお返しで、主な奥樣連が海興の山田氏宅を會場とし、夫人を招いて嗜好だと云ふ日本式のお茶會があつた、午後八時から公使夫妻主催で、叙勳された州統領を始め各部長官連、先年叙勳されたアルチノアランテス氏等及び同各夫人連を トリアノンに招いて晩餐大宴會が開かれ

▲席上公使は日本政府の名に由つて一場の挨拶を爲し州統領ワシントンルイス氏に勳一等旭日章副統領ヴイルジリオ、ロドリゲス、アルベス氏に勳一等瑞寶章、内務長官アラリコシルヴエーラ氏、司法長官カルドーゾ、リベーロ氏、農商工務長官エートル、ベンテアード氏、大藏長官アルヴアロ、アゼベード氏に各々勳二等旭日章及びサンドーバル少佐に勳四等旭日章を傳達し、茲に目出度今回來聖の任務は終つた。昨十七日は藤田總領事が官邸に、公使夫妻を主賓として晩餐會を催し、本日は州統領主催公使夫妻を主賓とする大宴會に列席、明土曜午後九時半ルス驛發のルッショで、リオへ歸る豫定である。

▲着いてから歸るまで約一週間、それからそれと訪問外出やら、訪客引見迎接やらで、忙しない時間を割いて、記者に會つてくれた公使は『やあどうも忙しい、默まつてうつちやつて置いたつていゝんだが、用がなくても逢つて置くと、いざと云ふ時に役に立つからね。』と用意を見せる快活な夫人は『停車場へ着いたら俄の軍樂隊で驚きました、まごついちやつて出迎への方々に碌に御挨拶も申しませんでした。』と美しく笑ふ。

●陸相來聖
△新兵營開所式に參列

陸軍大臣バンゲイア、カロジエラス氏はピラスヌンガ騎兵第二聯隊新築營舍開所式參列の爲來聖十三日午前九時半特別列車でルス驛着高官諸名士の出迎を受け同十時特別列車でピラスヌンガへ出發新兵營開所式に臨んだ上十四日朝歸聖ロチセリホテルに向ひ午後二時再び之も新營成つたオザスコのキタウナ兵營開所式に臨オザスコのキタウナ兵營開所式に臨席の爲出發同所に於て一場の祝辭演說を述べ午後五時歸聖午後十時五十分ルス發特別列車で盛大な見送の裡にリオへ歸つた

●ルイ元老病氣
伯國一で世界的權威ある博學者なる

元老ルイバルボーザ氏は尿毒症の爲容態危險に陷り見舞客及び各地よりの見舞電報引も切らず

●副統領選擧
新聯邦副統領選擧は明十九日午前九時から行はれる

●サントスヅモン歸着
飛行界の鼻祖とも云はれる伯國の老飛行家サントスヅモン氏は故國の百年祭參列ながら佛國を出發し去る十四日リオへ到着した

●ウルグワイ獨立と
伯國軍艦特派

來る廿五日はウルグアイ共和國の獨立記念日に相當するので伯國は祝賀の爲戰艦フロリアノ號をモンテビデオへ特派する事になり同艦は土曜日リオを出帆した途中リオグランデ港へ寄港する由

●五ミル紙幣に注意
△Estampa 16a は回收

最近前大統領ロドリゲス、アルベス博士の肖像入 Estampa 16a の五ミル紙幣に贋造が頻々として發見されたので犯人嚴探中此の程本家の造幣局内で不心得者が密造してゐる事が判明すると共に犯人檢擧の歩を進めつゝある一方去る十五日から該紙幣一切を流通界から回收引上げる事になつた因にこの贋紙幣は番號の數字や裏面の白抜の『5 Cincomil réis 5』の文字が眞物より小さな活字で印刷され一般に鮮明を缺き大さに於て長さに一センチ巾に四ミリ小さい

●百年祭の
觀兵式場變更
◇獨立記念碑工事は來年完成

百年祭當日聖市ではイピランガ博物館前で各學校生徒の少年義勇軍一萬と州兵とを併せて合計二萬二千の觀兵式が行はれる筈だつたが該地の記念塔工事がはかどらない爲アベニイダバウリスタへ擧行場所變更の旨政府當局は内定した、之に就てイピランガの獨立記念碑及び記念廣場建設主任技師マリオ氏を訪へば『すつかり後れて仕舞いました思はぬ故障の類出でかうなつたんです全部出來上るのは來年三月頃でせう』と云つてゐた

●鈴木代議士一行來聖
聖主なる邦人の出迎えを受け直ちにホテルロチセリーに投宿され、翌十六日は市内見物十七日朝七時五分ルス驛發リベロンプレト方面の珈琲園及びノロエステ線の植民地視察に赴かれたるが歸聖は廿四日午前の豫定だと

報に接せるが如く『皇室社會新政』の著者にして議政壇上に博辯宏辭を以て聞ゆる代議士鈴木梅四郎氏は三越呉服店の藤村兼次郎、實生活主幹の白柳武司及び岡田の三氏同伴去る十五日午後六時廿五分プエノスより來聖主なる邦人の出迎えを受け直ちにホテルロチセリーに投宿され、翌十六日は市内見物十七日朝七時五分ルス驛發リベロンプレト方面の珈琲園及びノロエステ線の植民地視察に赴かれたるが歸聖は廿四日午前の豫定だと

●練習艦隊歡迎團では
將士の案内に大苦心

練習艦隊の來航も迫々迫つて來るので歡迎團でも之が歡迎準備に忙がしい、何が偖て今度は前年とは異り艦隊の將卒全部（二千五百人餘）がサンパウロ市までも見物したいと云ふのであるからサンパウロ市側委員が如何にして之等多數の人々に滿足を得さするかに就き色々と講究中だが

▲大體之を三分して八百人宛を三日間に迎へ、准士官以上は自動車で、下士以下は借切りの電車で市中を案内し、アクリマソン公園で辨當を使つて貰ふことにし、同時に在留民も公園に出掛け互に辨當を開きながら快請を交ふる仕組になるらしいが是は尚に良い思い付だ

▲又司令官外か二十餘名の内地視察は前號報道の如く之は既に委員會で決定して居るが尚ほ其の以外の士官等にして或はノロエステ方面を見たさうであるから未だ購求なき方は本紙一面の廣告を見て至急申込まるゝが宜かるべし

●百年祭祝賀會では
打擧げ煙花に注文

聖市及近郊の催しに係る獨立百年祭の祝賀方法としては既に前號報道の如く其の一つを日本煙花の打揚と決し此の程注文を爲すの運びに至つたさうである、煙花の種類は材料等の都合にて餘り多くは望まれないがそれでも畫は日伯國旗や風船を打擧げ夜は菊だの、亂玉だの、變玉だのを打擧げ未だ日本煙花を知らぬ伯人等をアツト云はせる筈だと

●レヂストロ植民地の
祝賀と歡迎の委員會

先頃レヂストロ植民地の共拓會では委員會を開いて來る卅一日の天長節祝賀と九月七日の伯國獨立百年祭祝賀と、又一つは九月廿日來植の練習艦隊司令官一行及び軍樂隊歡迎方法とを協議して後夫れ〳〵委員を定め更に具體案を講究する事になつたが天長節祝賀會準備委員には大坪治助氏を委員長とし四十名を選び獨立百年祭祝賀並に來植將校歡迎委員には新戸田庸吉郎氏を委員長とし四十名を選んだと

●運動界●

▲ピンポン大會　明日午後八時からミカド運動倶樂部にピンポン大會があり續いて茶話會が催される

●鈴木貞次郎氏　プロミッソン植民地經營者の同氏は去る十五日耳治療の爲め出聖こゝ一週間程滯留の豫定

●『葡語手紙の書方』の賣行き　本社發行の『葡語手紙の書方』は八月一日發賣以來日々多數の申込にて係員が眼を廻はす程の忙がしさである、此の分では二千部も忽ちにして賣切れさうであるから未だ購求なき方は本紙一面の廣告を見て至急申込まるゝが宜かるべし

●新着雜誌の賣物

本社營業部へ新着雜誌中左の種類冊數を御好みの方に御分け致します、どうぞ御望の方は代金を添へ至急御注文を願ひます、但し賣切れの場合は次着の分にて御詰合せの儀御承知を願ります

種類	發刊月	賣價
文藝倶樂部	五、六月各一	四、八〇〇
講談雜誌	五、六月各一	二、四〇〇
小學男生	五、六月各一	二、〇〇〇
小學女生	五、六月各一	二、〇〇〇
幼年の友	四、五六月各一	二、〇〇〇
實業の日本	四、五三回分	二、〇〇〇
女學世界	五月號一	三、二〇〇
婦人世界	五月號一	三、二〇〇
少年	五、六月各一	二、四〇〇
少女	五、六月各一	二、四〇〇
幼年書	五、六月各一	二、〇〇〇
女報	五、六月各一	二、〇〇〇

詩、歌、俳句投稿歡迎

來る九月七日の伯國獨立百年祭には本社も祝意を表する爲め美麗なる祝典記念號を發刊すること毎號廣告の通りでありますから讀者諸君にして特に詩歌俳句を以て百年祭を祝さんとする方があるならば來る二十五日まで本社に到着すべきやう御投稿あらん事を願ひます

伯剌西爾時報社

夫林藏儀豫て病氣の爲め當市サンタカーザへ入院致し色々手を盡したるも其の効を奏せず去る八日遂に永眠致し翌九日市内アラサツーバ共同墓地へ埋葬仕り候間此の段生前厚知諸彦へ謹告候

大正十一年八月十八日

山形縣人
妻　今野トク
長男　同　德藏
外親族一同

拜啓今般私儀家事の都合に依り止むを得ず來る九月中旬頃サントス出帆の豫定の『メキシコ丸』にて一時歸國致す可く候に付き辱知諸君に乍略儀以紙上御挨拶申上候

大正十一年八月十一日

本籍福岡縣三井郡節原村大字小森野
現住所ソロカバナ線ブレジョン植民地
高田七藏

◆募集廣告◆

珈琲の前定に經驗ある人及見習希望者數名至急に雇入れたし
バウリスタ線コレゴリコ驛
アニユーマス農場
Estação Cerqueira Cezar
L. Soroca-baua

◆コチヤの畑◆

附近には澤山の日本人家族があつて立派な自動車道も通じてゐれば住家や其他の設備がある處女林やカボエロンのある上等の大きな土地を賣却します。御希望の方は左記の所有主へ願ひます。
Rua Conde São Joaquim, 12

◆米棉步合作人募集◆

處女林及カボエラ。位置ノロエステ線ペンナ驛平野殖民地。山林伐採及カボエラの除草希望に應ず。御望に依り家屋を提供し一年間の食料を貸與す。學校は中央部に有り現在生徒數六十餘名有り。
備考　驛より十二キロス當殖民地域内在住殖民者二百餘家族を有す當殖民地内に製糖所ビンガ製造所並に三軒のアルマゼン有りて賣買等も非常に便利なり。御希望の方は左記に來談しくは御照會を乞ふ但し契約年限終了者に限る。

平野殖民地中央部

入谷常吉　山崎林作
山室槌平　宮尾保
藤原嘉太次　森半次郎
秋實森信　吉崎與作
永能一　日光商店

13 de Agosto de 1922 No. 254

Noticias do Brazil

大正十一年八月十八日　金曜日　第二百五十四號

大石内藏之助

八十二

半井桃水

『イーエ私は受けませぬ、何の代ども分らぬ金子、納める事はなりませぬ、遺物にといふことなら、身に付いた肌着なりと、殘して去で貰ひませう、人の手から手に渡り、思出にはならぬ金子、私や欲しう御座んせぬ、でも水臭い貴郎の心、今度は一味の人々と、諸共に江戸へ下り、故主の怨敵吉良殿へ、怨みを晴らす覺悟の旅立ち、是が此の世の別れぢやと、何故打明けては下さらぬ』といふ口押へて平左衛門、

『エ、その様な事、うか〳〵とはいはぬもの、人に聞えたら何とする』

『人に言はう筈はなけれど、夫婦の契り交した私に、何の匿す事が御座んせう』

『でも其の様な事、思ひ立つた覺えはない』

『私をそれ程未練な女と、輕蔑つて御座んすか、君傾城の勤めはしても腹まで遊女になりはせぬ、士の子と生れたからは、如何にいとしい良人でも、忠義の爲には殺さにやならぬ私は疾から覺悟して、今度逢ふのが見納めか、明日の御見が限りかと、悲しい時を待つて居たぞへ』と袖かみ締めて泣伏した。

平左衛門は目を睜つて、はつが顏をぢつと凝視た。

『小生が俄かの旅立、亡君内匠頭様のおん爲、吉良家へ鬱憤を晴らす企圖と思ふのも、無理ではないが、淺野家の重臣、大石殿を始めとして、一同評議を遂た上、赤穗の城も引渡し、家中離散に及んだ今日、吉良家に對して復讐などゝは、夢にも思ひ寄らぬこと』

『といふは人前、女房の私に、そらぞらしい僞へごと、私やそんな話聞きたうない』

『でも覺えのない事を』

『イーエ覺えないとはいはせませぬ私や證據を持つて居るぞへ』

『ナニ證據とは』

『此の前の後朝、着物をかけてあげる時、貴郎のこの袂からばつたりと落ちた文、近頃足の遠いのも、こんな樂しみがあればこそと、嫉心に拾ひ取り、還らしやんした其の跡で、そつと披いて見た處江戸の堀部安兵衛殿から、貴方に宛た大事の密書』

『ヤ、あの手紙が汝の手に』

『大石殿は賴みにならぬ、決死の味方が十餘人あれば、吉良の邸へ討入つて、見事大望遂げられる筈、今當地に居る者では、奥田高田磯貝不破片岡赤埴武林、今七八人の同志が欲しい、京にも志ある者はあれど、大石殿の耳に入つては、必定事の妨げとなる、就ては足下大阪赤穗の、同志を竊に語合うて、一日も早く出府あれと、勸めの手紙で御座んした』

南無三寶一大事、同志黄野三平は神文を重んじて、父にすら祕密を明さず、切迫つまつて腹切つた、如何に深う言かはしても、高が婦女子、特には毎夜かはる枕、いつ誰に心を移して、うかと大事を口走り、破綻を來たすかも圖られぬ、平左衛門が一生の粗忽、はて何としたものであらうと、力を籠めて兩手を組み、堅く目を閉ぢ齒を切り、呼吸を詰めて思ひ惱んだ。

『士と生れたからは、左樣なうて叶はぬこと、私や未練に留めはせぬ、此の世の緣は薄くとも、來世の契りを樂しみに、待たしやんせ待ちますぞへ、夫にしても油斷のならぬは、此の程からしげしげと私に通ふ東の客人、ありや吉良家の間者、必ずともに悟られぬやう』と耳に口寄せて私囁く折柄、仲居は杯盤を運び出し口舌しらけた體と見て、

『サ、、仲直りのお杯、平樣お酌』と促され、平左衛門は大杯を擧げ、

『待かねた滿々と酌でたも』

『好いた同志の對座は得て口舌の種を蒔くもの、藝妓舞子を呼あげて、陽氣にお騷ぎなさんせぬか』

『ほんに夫が好うござんす、早う呼んで下しやんせ』とはつは仲居が勸めに任した。

座は忽ち陽氣になり、謡へよ舞へと取囃したが、平左衛門は打沈みながら、平生餘り嗜まぬ酒を、引受け〳〵傾けて、殊の外惡酔した。

『平樣は御酒が過ぎて、いかうお苦しさうで御座んす、もうお披きにしたが好いぞへ』と仲居が言葉に藝妓舞子は、程なく此處を引拂ひ、跡は大風の吹いて通つたやうに、再びしんと靜まり返る。

はつはお松が手を借りて、平左衛門を臥床に運んだ。

『無理酒に酔しれて、正體もない樣子、いかいお世話で御座んしたのう』と心附の纒頭をやる。

『いつも此の樣なお心づかい、お氣の毒で御座んすなア、夫は左樣と、例の東のお客人が、宵から表二階に來て一ト目おまへに逢はして欲しいと、言つゞけて出なさんす』

『今宵は何も氣分が惡うて、私や行くのが否ちや程に、味好ういうて汝から』

『お斷りは申しても、强て一ト目逢ひたいとの事、お否でも御座んせうが、ツイちよつとお座敷まで、これ此の通り拜みます』と仲居のお松は手を合はしてかき口說く。

* * *

話變つて此頃大阪の市中に、かくし坊といふ、僧俗いづれとも付かぬ異風の道心者があつた、亂舞俳諧唄三味線、望まるゝ儘興を添て、町々袖乞し、賴めば傾城の文も書く、その癖無慾恬淡で、金錢に望みなく、酒肉を啗はず、毎年一度は東海道を行脚して、駿河の府に行き、心ゆくまでに富嶽を仰ぐが、何よりの樂しみであつた。金谷の宿に小澤佐七といつてかくし坊が毎年の行還り、必ず留めて二三日づゝ、懇に待遇す者がある、發句を書せ歌を諷はせ、一年中の苦勞苦患を、全く忘れ果るといつて、心底かしく坊に歸依し、袖乞をして世を送らずとも、知音の者申合はせ、庵も造り米噌も贈り、不居自由なく暮らさせうと、さま〳〵に勸めても、かしく坊は首をふり、『番の巢や行くもとまるも水のまゝ』と一句を吟じ、飄然として立去るのである。

かしく坊は四十前後、小作りにして色白く、眉目淸秀の好丈夫、人が注文を乞へば、千章を誦するより、一句を以て道を得んに如かずと答へ

婦人欄

●移民地に泣く鶴え樣へ

よなこ子

御手紙くり返しくり返し拜讀致しました。『薄暗いカンテラの光の下ではり裂ける樣な胸の思を……』細々と御認め遊された御筆の跡は、一字〳〵が涙を含んで、讀み行く妾の目の前に、今やる瀨ない胸の悶に、泣き崩るゝあなたの御姿が、あり〳〵と見える樣な心地が致します。

▲海外に出かけて來る若い婦人方……それはまあ何と勇敢な、そして悲壯な事でせう！、中には蓮葉の露を玉と取り違いて、甘言麗色の呼寄狀に欺れた年若い姉妹方もあるでせう。或は南米三界に出かけて來る事を、さも『洋行』でもするかの樣に考へていよ〳〵實地に着いてから、泣き出す樣な婦人方も、決して一人や二人では御座いますまい。

▼『妾等の來る處がまさか此んな處とは……枕する處と申しても、眞の鷄屋同樣な……寢ながらにして眺められる異鄕の月影……誰訪れる者ない此奥で遇ふ雨風の淋しい事……妾は何せ此んなに意氣地がないでせう……いくら我身をつねつても、こうした氣分から逃れられずに……』などゝ云ふ臑を斷る樣な御言葉が、今現在のあなたの御心持を云ひ表はして、殘りないと思はれます。

▼勿論事實を僞つて、當方の眞狀を傳へずに、いゝ事づくめの手紙で以て、妻呼寄をする殿方にも十分責任が御座いますが、然し妾等も最早や小供でない以上は、海外で奮闘して居られる殿方が、どの位の苦辛を嘗めて、そして相當の成功を收る迄に、何れ丈の年數が掛るか位は大體の見當が付くべき筈だと思ひます。

▼要するに日本の婦人は、海外の事情に暗い計りでなく、殊に移植民者の妻としての資格を、甚しく缺いて居るではありませすまいか。移民地に入つた其日から慕鄕の念やる瀨なく、夫をせき立てゝ歸國を迫るのも婦人の方からだと申されて居りますが、我國民が海外發展に成功せない最大の理由の一つは正しく此處にある。

▼確に開拓の時代にある移民地の生活は、不便で寂寞で慘なものに相異ありません、然し其處にはあの因習と舊慣に捕へられた忌はしい束縛や汗の一滴〳〵が其儘實を結んで我等に報る自由の新天地が御座います！

祝典記念號發刊

謹啓　各位益々御淸穆奉大賀候陳ば本年九月七日伯國獨立百年祭に際し記念大祝典擧行せらるべく候に就ては本社も聊か祝意を表すると共に此の機を利用して最近の伯國を故國に紹介せんが爲め紙數增大美麗なる『祝典記念號』發刊可致候間同胞諸彦も亦九月七日の本紙『記念號』を通ふして各位の祝意と發展と存在とを表はすべく御廣告被成下度御願申上候。

廣告の樣式は別段固苦しく一定不致候得共種類を二段、一段、半段、四分の一の四種とし左の料率にて御注文に可應候間御希望の御方は料金を添へ來る八月廿日までに御申込被下度候。

但し御廣告は團體名、會社名、組合名、店名個人名を問はず其の肩書には必ず『祝伯國獨立百年祭』を御記入願上候

廣告料率

一金四拾五錢（二段若くは二段二分の一）
一金貳拾五錢（一段若くは二段四分の一）
一金拾參錢（半段若くは二段四分の一）
一金八錢（四分の一若くは二段八分の一）

伯刺西爾時報社

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

リオデジャネイロ
横濱正金銀行支店

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

鄕里送金

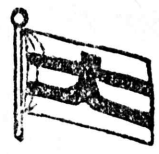
一、日本金に引直相場は當分伯貨三ミル六百レースにつき日本金壹圓
二、日本内地郵便爲替料、書留料七十錢にて當店に於て負擔いたし即ち全部料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勸定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく

預金

日本貨定期預金利息　六ヶ月以上　年六分
伯貨定期預金利息　六ヶ月以上　年四分五厘
伯貨當座預金（小口）　壹ヶ年以上　年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

OSAKA SHOSEN KAISHA



大阪商船會社瀛船着發廣告

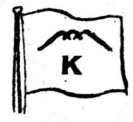
●メキシコ丸
北米パナマ經由　サントス發九月十五日
横濱、神戸行き　リオ港發九月十八日

●シカゴ丸
リオ港着　九月四日
日本より　サントス着　九月六日

尙詳細は左記へ御問合せ被下度候
Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo :— Rua José Bonifacio, 17
Santos :— Rua 15 de Novembro 167
Wilson Sons & Co. Ltd.
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco 37

YAMA-K. SHOKAI
Ship-chandlers
Telephone Central, 1973
Rua Martim Affonso, 41
SANTOS

大阪商船會社
日本郵船會社　御用達



各艦船食糧賣込業
並に農産物仲買業、生、干、鹽魚卸販賣

K合資商會

渕小
岸本　合同營經

南米サントス市
マルチンアフオンソ街四一番
電話セントラール一九七三番